

令和2年度事業報告

1 事業の状況

(1) 公益目的事業 1

植村直己の業績についての展示公開に関する事業（定款第4条第1号関係事業）

【植村冒険館の管理運営】

① 植村冒険館の運営

所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5

建物 延床面積518.77㎡

展示室 76.60㎡、情報コーナー 42.70㎡

開館時間 午前10時～午後6時

開館日数 253日〔休館日：月曜（祝日のときは火曜）、年末年始〕

来館者数 9,649人（38.1人/日）

入館料 無料

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休館（4月1日～5月31日）を実施

② 情報コーナー資料収集整備

情報コーナー利用者数 5,595人（22.1人/日）

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休館（4月1日～5月31日）を実施

資料数（令和2年度末）

・書籍 9,057冊（前年度8,959冊）

・定期刊行物 6種

・山岳団体会報・報告書等 33団体 309件

③ 広報と情報の発信

ア 植村冒険館機関誌「通信 植村冒険館 ADVENTURE FORUM」の発行

植村直己の業績や人物像の紹介及び植村冒険館の活動を紹介するため「アドベンチャー・フォーラム」を発行した。

・発行回数：年1回発行（令和3年3月/第45号）

・発行部数：4,000部

・配布先：植村冒険館来館者、友の会会員、全国山岳団体、国立公園等関連施設、国立青少年施設〔少年自然の家〕都内図書館・博物館・美術館、登山・野外活動用品販売店等

イ 事業内容や参加者募集の周知、施設の情報をホームページに公開した。

④ その他の事業

ア 広告掲出（国際興業バス車内放送）

イ 加盟関連団体

日本山岳会、東京都博物館協議会

ウ 植村冒険館友の会

会員数 令和2年度末 226人（前年260人）

エ その他の取材等協力

撮影協力（遺品）：豊岡市立植村直己冒険館（国民栄誉賞等の撮影）

取材協力（施設紹介）：読売新聞 TOKYOウイークエンドほか2件

情報提供（掲載許諾対応）：集英社「オーパ！完全復刻版」ほか8件

植村直己関係者の紹介等 ニッポン・ドット・コムほか2件

オ 遺品の貸出

なし

カ 板橋区事業への協力

「植村直己生誕80周年記念クラウドファンディング事業」の周知等協力

【資料収集・保存及び調査・研究】

① 遺品等の収集及び保存

ア 収集資料累計：1,867点（設立時 1,604点）

イ 収集資料：7点 植村直己氏の日本山岳会会員証等

ウ 関連資料：1点

日本大学山岳部が北極点遠征で使用した無線機 1台（嵯峨野宏氏提供）

② 所蔵遺品の点検

ア 関係者（大塚博美氏、平野眞市氏、中出水勲氏）所蔵資料の内容調査

イ 新植村冒険館への移転のための個別点検

③ 植村直己氏の業績及び植村氏の冒険に関与した人物等の調査

ア マスコミ、来館者等からの問い合わせに対する調査と情報提供

イ 新植村冒険館への移転のための調査

【展示事業】

植村冒険館：通年開催（232日）

入室者数 4,054人（17.5人/日）

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休館（4月1日～5月31日）を実施

① 植村冒険館企画展

回数	タイトル	期間	入室者数
	内容		
継続 開催	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～	4月1日～ 7月5日 (30日間) ※4月1日～ 6月1日まで 休館	323人 5.8人/日
	マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介するとともに、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。		

回数	タイトル	期 間	入室者数
	内 容		
1	達成50周年記念 エベレスト50 ～植村直己と遠征隊とエベレスト～	7月17日～ 12月6日 (123日間)	1,256人 10.3人/日
	植村氏が日本人初のエベレスト登頂を果たしてから50年を迎えることを記念し、「日本エベレスト登山隊」の行程を詳細に紹介した。植村氏が山頂で撮影した写真の大型パネル等を作成し、山頂の雰囲気再現することに注力した。		
2	エベレスト登頂50周年記念 ～写真で振り返る日本人のエベレスト～ 【日本山岳会と共催】	12月12日～ 翌年1月11日 (21日間)	432人 20.6人/日
	エベレストに日本人がどう登ってきたかを振り返る企画展示を日本山岳会と共催で開催した。50年前の装備と写真パネルを中心に、この50年のエベレスト登山を紹介した。		
3	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～	1月22日～ 3月31日 (59日間)	1,241人 21.0人/日
	マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介するとともに、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。		

② その他の展示等

ア 板橋区施設での展示

板橋区立少年自然の家八ヶ岳荘「植村直己展示室」(通年)

板橋区立榛名林間学園(通年)

板橋区立赤塚体育館(通年)

イ 板橋区内施設での出張展示

板橋区役所1階 ギャラリーモール「植村冒険館 施設紹介」

期 間：5月25日～7月9日(34日間)

ウ 学校展示/高島第一中学校

「冒険家・植村直己の足跡」

期 間：1月16日(学習発表会) 生徒数：371人

エ 「どんぐりブック」読書感想文2020

子ども向け冊子 植村直己読本〈前編〉「どんぐり、世界を駆ける」を、「地球たんけんパスポート」を達成した小学生に配布し、読書感想文を募集した。(「さらなる探検スタンプ」事業が中止となったための代替事業)

対 象：小学生

期 間：7月21日～9月30日

応募数：21人

オ 企画展に関連する講演会の実施

エベレスト遠征から50年になるのを記念し、遠征に参加した隊員による
基調講演とトークショーを行った。

講演会名：登頂50周年記念トークショー「エベレストから50年」
～あの時の遠征を隊員たちが語るひととき～

出演者：神崎忠男遠征隊員ほか5名

日 時：11月14日（土）午後1時30分～3時45分

会 場：板橋区立成増アクトホール

参加者：239人

【中止となった事業】

ア 「さらなる探検スタンプ」配付

イ 「クール！ザ・冒険館」南極<ミニ>体験

ウ 小茂根図書館及び明治大学への出張展示

【公益目的事業1の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		31,790,000	22,110,932
内 訳	(1)冒険館の管理運営	23,910,000	19,174,991
	(2)資料収集・保存及び調査・研究	1,159,000	838,920
	(3)展示公開	6,721,000	2,097,021

(2) 公益目的事業2

自然への関心を高めるための実体験事業（定款第4条第2号関係事業）

① 自然塾の実施

例年であれば、小・中・高校生を対象に、自然の中での活動を通じて、「ウ
エムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力、人間らしい生き方を学ぶ
プログラム内容で実施するものであるが、令和2年度は新型コロナウイルスの
感染拡大に伴い、当初予定していた年間プログラムを大幅に変更した。現地集
合や家族単位で行動ができる親子プログラムに計画変更し、実施した。

実施回数4回（全6回 中止2回） 参加者58人

【実施プログラム】

回数	プログラム名 実施場所及び内容	実施月日 及び期間	参加者数
1	親子キャンプ～非日常を楽しもう～ (親子プログラム：子どもは小学1から6年生を対象) ----- 国際自然大学校日野春校キャンプ場（山梨県北杜市） テント設営や野外クッキングなどキャンプに必要な道具の使い方を体験しながら、日常から離れ、親子で川遊びや焚火など自然を楽しんだ。	8月1日 ～8月2日 【1泊2日】	大人 11人 子ども 10人 計 21人
2	親子ハイキング①～ゆっくり初級編～ (親子プログラム：子どもは小学1から6年生を対象) ----- 日和田山周辺（埼玉県日高市） 親子でゆっくりとハイキングに挑戦！家族ごとにオリエンテーションをしながら山頂を目指した。岩登りにも挑戦した。	11月8日 【日帰り】	大人 8人 子ども 8人 計 16人
3	親子ハイキング②～チャレンジやぶこぎ編～ (親子プログラム：子どもは小学4年生から中学3年生を対象) ----- 日和田山周辺（埼玉県日高市） 前回の初級編とは違い、今回は地図とコンパスを使って学び、道なき道を進んで山頂を目指した。	11月29日 【日帰り】	大人 6人 子ども 6人 計 12人
4	親子キャンプ ～焚火と日の出ハイクに挑戦！～ (親子プログラム：子どもは小学1年生から中学3年生を対象) ----- 神奈川県立愛川ふれあいの村（神奈川県愛甲郡愛川町） 焚火や自炊などのキャンプ生活を体験し、ナイトハイクに挑戦！山頂でそれぞれの家族が朝食を自炊し、家族の絆を深めた。	3月27日 ～28日 【1泊2日】	大人 5人 子ども 4人 計 9人

【中止したプログラム】

回数	プログラム名 実施場所及び内容（予定）	実施予定月日 及び期間	参加予定 定員数
1	親子でスノーシューに挑戦！ ～雪の世界を遊びつくそう～ (親子プログラム：子どもは小学1年生から高校3年生を対象) ----- 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市） 親子で普段触れる機会が少ない雪の世界を体感してもらおう予定だった。	1月23日 ～24日 【4泊5日】	大人 7人 子ども 7人 (親子7組) 計 14人

回数	プログラム名	実施予定月日 及び期間	参加予定 定員数
	実施場所及び内容（予定）		
2	自分の限界に挑戦！オーバーナイトウォーキング (小学4年生～高校3年生)	2月27日 ～28日 【泊2日】	小学生 24人 中高生 18人 計42人
	小学生：新河岸駅から植村冒険館までの30km 中高生：森林公園駅から植村冒険館までの50km 毎年恒例の徹夜歩行。寒さと眠気に耐え、参加者全員で歩き切る目標があった。		

② アドベンチャー講座等の実施

ア アドベンチャー講座

成人を対象とした自然体験講座は、自然との触れ合い及び人と自然との関わりを体得する機会を提供するものである。登山を安全に楽しむための正しい知識の普及と、自然を慈しむ精神を養うとともに、植村直己の冒険心についての理解を深めるための講座を計画した。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により事業計画の全てを中止した。

実施回数0回 参加者 0人

【中止したプログラム】

	実施予定月日	実施予定場所	種別	定員	予定リーダー・講師
1	6月13日（土） ～14日（火）	聖山・高峯山	登山	37	節田重節・山口章
2	8月21日（金） ～24日（月）	白馬岳	登山	36	節田重節・原邦三
3	9月12日（土） ～14日（月）	八ヶ岳東天狗岳 根石岳	登山	27	大谷映芳
4	10月24日（土） ～25日（日）	那須岳	登山	30	原邦三
5	翌年3月6日（土） ～7日（日）	未決定	雪山 登山	24	天野和明ほか3名

イ やさしい日帰り登山講座

初心者でもやさしく登れる低山を選定し、実践を通じて登山の基礎知識やマナーを習得してもらうとともに、山頂で手軽にできる「山めし」の昼食を紹介し、体験・実食した。都会では味わえない登山の楽しさや魅力に気づき・発見してもらい、継続的に登山をしてもらう機会を提供した。（定員：20名）

実施回数1回 参加者 19人

【実施プログラム】

	実施月日	実施内容	講師
1	11月28日(土)	御岳山登山(奥多摩) 山めしの紹介、山の歩き方の講義	山口 章 原 邦三

【公益目的事業2の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
自然の中での実体験事業		12,340,000	2,789,956
内	(1)青少年対象「自然塾」	10,111,000	2,618,331
訳	(2)一般対象「アドベンチャー講座」	2,229,000	171,625

*参加者負担金収入額合計 = 32,427円

アドベンチャー講座(日帰り登山講座) : 32,427円

(3) 収益事業等(その他の事業1)

その他、目的を達成するために必要な事業(定款第4条第3号関係事業)

【関連物品販売事業】

植村直己著書及び関連図書・DVD・野外活動用品等を来館の記念として販売

・グッズ等販売収入合計 = 905点(29種) 811,623円

(内訳) 図書 : 79点 88,065円

DVD : 36点 125,919円

物品 : 790点 597,639円

【収益事業等の決算状況】

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額
関連物品販売事業	2,119,000	1,785,871

2 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
理事長	坂本 健	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	板橋区長	平成19年6月27日
常務理事	森田 泰夫	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	(兼務)植村記念財団 事務局長	平成26年6月23日
理事	橋本正彦	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	板橋区副区長	平成27年8月18日
理事	金子和也	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	板橋区 スポーツ振興課長	平成29年6月23日
理事	節田重節	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	NPO 法人日本ロン グトレイル協会会長	平成14年6月28日
理事	高橋通子	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	(株)ル・ベルソー 代表取締役	平成4年3月25日
理事	中村 滋	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	元(株)小学館 専務取締役	平成4年3月25日
理事	中澤達彦	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	(株)前田麻名デザイン 事務所代表取締役	平成28年6月15日
理事	湯川 豊	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	日本文芸協会 常務理事	平成4年3月25日
理事	渡邊興亞	令和2年6月16日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	国立極地研究所 名誉教授	平成14年6月28日
監事	倉林秀雄	平成30年6月21日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	税理士	平成20年3月26日
監事	山岸久雄	平成30年6月21日～ 令和4年定時評議員会	非常勤	国立極地研究所 名誉教授	平成30年6月21日

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
評議員	元山芳行	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	板橋区議会議長	令和元年6月13日
評議員	大田博	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	板橋区議会副議長	令和元年6月13日
評議員	森弘	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	板橋区区民文化部長	令和2年6月16日
評議員	大谷映芳	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	NPO法人アースワーク スソサエティ代表	平成14年6月28日
評議員	吉田輝男	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	(公財)板橋区体育協会 副会長	令和2年6月16日
評議員	田中敬子	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	(株)共映 取締役兼映像部長	平成14年6月28日
評議員	貫田宗男	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	(株)ウェック・トレック 顧問	平成28年6月15日
評議員	林雄平	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	植村冒険館友の会会長	令和元年6月13日
評議員	廣江研	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	社会福祉法人 こうほうえん会長	平成4年3月25日
評議員	渡邊武	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	板橋区町会連合会 蓮根支部長	平成27年6月30日
評議員	飯田年穂	令和2年6月16日～ 令和6年定時評議員会	明治大学名誉教授	令和2年6月16日

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・ 非常勤	本法人以外の現職	本法人役員 就任年月日
特別 顧問	植村公子	平成24年4月1日～	非常勤	植村直己氏夫人	平成4年3月25日

(2) 職員に関する事項（臨時職員を除く）

（令和3年3月31日現在）

職務	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	森田泰夫	平成26年4月1日	統括	非常勤
事務局次長	中野義明	平成29年9月1日	事務統括	派遣（板橋区区民文化部スポーツ振興課特命担当係長）
事務	浅田真紀子	令和2年4月1日	一般事務	派遣（板橋区区民文化部スポーツ振興課）
事務	大塚由佳	平成30年10月1日	一般事務	常勤
学芸員	内藤智子	平成4年4月1日	学芸事務	常勤

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議事事項	結果
令和2年5月25日 (決議の省略)	① 「令和元年度事業報告」の件 ② 「令和元年度収支決算」の件 ③ 「令和2年度定時評議員会の招集」の件	承認 承認 可決
令和2年7月1日 (決議の省略)	① 「理事長及び常務理事の選任」の件	可決
令和3年3月1日 (決議の省略)	① 「令和3年度事業計画及び収支予算」の件 ② 「評議員会の招集」の件	可決 可決

(2) 評議員会

開催月日	議事事項	結果
令和2年6月16日 (決議の省略)	① 「評議員の選任」の件 ② 「理事の選任」の件 ③ 「令和元年度事業報告」の件 ④ 「令和元年度収支決算」の件	選任 選任 承認 承認
令和3年3月15日	① 「令和3年度事業計画及び収支予算」の件	承認

4 寄付金に関する事項

(1) 寄附金額 407,172円

寄附内訳

寄附の目的	寄付者	領収金額	備考
顕彰事業等への援助	寄付金箱	187,693円	
	郵送等	219,479円	